

八丈島 水産だより

6月号

2013



ニオイウツギ



今年の田植えのようす

例年より早く梅雨に入った地方が多いなか、八丈島でも雨の季節がはじまりました。八丈島はとて雨が多く、昨年の気象庁の統計では全国154観測地点中第5位でした。このように雨が多いため、年間を通じて湿度も高めです。梅雨の時期はさらに高く、カビなどの対策に工夫が必要です。

今年も田植え体験が晴天のもと行われました。地元保存会による田植え歌と石投げ踊りのあと、参加者は田んぼに入り、泥に足を取られながらも、田植えを楽しみました。

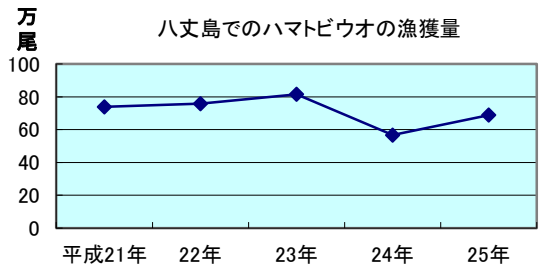
■ 今年のトビウオ漁が終わりました

1月からはじまったトビウオ漁が5月下旬に終わり、約69万尾の漁獲がありました。東京都島しょ農林水産総合センター八丈事業所によると、昨年は3月に八丈島の周りが冷水塊（周囲よりも冷たい海水域）に入ったため、トビウオ（ハマトビウオ）の群れが島から離れ、水揚げが少なくなったが、今年は昨年のようなことはなく安定した漁模様だったとのことです。

トビウオ漁が終わり、現在、ほとんどの漁師さんはキンメダイ漁などの底魚一本釣漁業を行っています。



ハマトビウオ



■ カツオのしま模様は？



魚のしま模様は、クイズになることが良くあります。さて、左の写真のようなカツオのしま模様は「たて」「よこ」どちらでしょうか？

せきつい動物では、背骨（脊髄）に平行となるしま模様を「たて」、垂直になるしま模様を「よこ」とします。魚の都合、頭を上にして考えるとわかりやすくなります。

答えは「たて」です